

日本共産党

つばた恵子の市議会報告

NO 4

2012年6月2日

発行

日本共産党岩国市委員会

岩国市山手町4-3-5

市会議員 つばた 恵子

岩国市由宇港1-6-12

電話：63-6550

岩国事務所：麻里布町

1-8-27 電話：29-5334



市議会議員

つばた 恵子

三井化学爆発事故

劣化ウランの撤去など安心安全対策で申し入れ

5月10日日本共産党岩国市委員会（松田一志会長）と、日本共産党市議団（大西明子団長）は、福田良彦市長に対して、「三井化学岩国大竹工場での爆発事故に伴う市民生活の安全と地域経済への影響に関する」4項目の申し入れを行いました。

し入れを行いました。対応した白木副市長は「申し入れの趣旨に沿って折衝したい」

地域経済への影響については「下請け業者への影響など懸念している、市独自の対応などについて研究したい」などと回答しました。

市、劣化ウランの存在知らず！

三井化学に劣化ウランが貯蔵されていたことについて、市民が大きな不安を持っていることで市当局に説明を求めました。

白木副市長は劣化ウランの存在を知らなかった和木、岩国、大竹で「対策協議会」を立ち上げ、国に対応を要請すると説明しました。



右から坪田、山田、大西各市議。左は松田党市委員長

現地周辺被害調査

市議団先頭に事故当日直ちに現地調査

日本共産党の岩国市議団の大西、山田、つばた議員は、衆院比例中国ブロック予定（爆風でシャッターがめくれている）



右から石村、大西、山田の各氏

三井化学との境界に隣接する民家では、工場側の窓ガラス戸が4枚吹き飛び、2階の窓ガラス戸も破損し「とにかく怖かった以前にもあった」と怒りを表しておられました。



被害の様子を聞く大西、石村氏

住宅リフォーム助成制度実現

日本共産党市議団が10年前から要求

市民が市内の工務店や業者に依頼し住宅をリフォームする場合に、岩国市がその費用の一部を助成することで、市内の業者の仕事起しを支援する制度。これによって市民も助かるという制度で今、全国に広がり、昨年4月の全国集計で330自治体に広がっています。

岩国市議会で最初に取り上げたのは、民主商工会などの要望に基づいて10年以上前に松田恭輔市議（当時）が質問しました。

以来、大西さんや藤本さん（当時）ら共産党市議団が一貫して取り組み、民主商工会では署名運動も展開しました。

助成規模は3000万円で補助金が無くなり次第打ち切られるので注意が必要です。 ※ 主な要項は次の通りです。

- ◇ 10万円以上のリフォーム工事に対し10%（上限10万円）を商品券で助成
- ◇ 申請受付期間は6月1日から
- ◇ 申請書類の提出は岩国商工会議所
- ◇ 岩国西商工会
- ◇ やましろ商工会

NLP実施しないで、オスプレイ配備に反対して

5月11日、日本共産党も構成団体となっている「安保条約廃棄・岩国基地撤去岩国地域実行委員会」が福田市長に、NLP訓練を岩国で行わないようにすること、またオスプレイの一時配備を絶対に認めないこと、また、新しく愛宕山跡地の都市計画法に基づく用途変更手続きを行わないよう求めました。



未亡人製造機と言われるオスプレイ

杉岡部長は市長に伝えると回答しました。

対象になる工事とならない工事などがありまますので事前に相談することが必要です。 工事が終わってから申請は受けられませんからご注意ください。 ◇ 詳しくは市役所商工振興課に連絡を！（TEL 29-5110）



右から山田、一人置いて大西、福本、米重、藤本の各氏

日本共産党の「提言」「消費税に頼らない別の道があります」...を各戸配布しています。ぜひお読みください。

乳幼児医療助成制度の所得制限の撤廃を求める

つばた恵子市会議員の一般質問から

「子育てと教育を応援する街づくり」に於いての乳幼児医療費助成制度の所得制限の撤廃を求めるとについて

Q 十年余りで約300人の出生数の減少がみられる。特に旧市内で目立つ。乳幼児医療費助成制度は、これまで多くの人に喜んでいただいているが、残念ながら所得制限の撤廃に至っていない。子育て世代を今以上に応援し、子どもとの命と健康を守るためにも所得制限の撤廃を求める。



有益で要求強いので検討したい

A、所得制限の撤廃は子育て世帯から強い要望があることから財源の確保に努めるとともに検討したい。



保健師による乳幼児家庭訪問再開を求める

Q、訪問事業は合併と同時に後退した。母子保健推進委員が

必要な人員確保等協議する

「こんにちは赤ちゃん事業」として訪問サービスを行っていたが、最も聞き分けの難しい2歳から3歳という大切な時期のサービスを取りやめた。もう一度保健師がきちんと対応を行うべき。そのためにも保険師を増やすことを求める。



乳幼児予防接種の一覧表を作つて

Q、いつごろどんな予防接種を受けたらよいかわかりにくい実態に合わせ、一目で理解できる一覧表を作つてほしいと

お母さん方から要望が出ています。市長の見解を問う。つくつて配布するよう検討する

A、スケジュールは予防接種の項目が増えることに伴い計画的に行う事も難しくなっている。どの予防接種をいつ行うかわかりにくくなり市民の問い合わせ

も増えてきている。今後は乳幼児期に行う予防接種について、一目で理解できる一覧を対象者に渡せるよう検討する、

放課後児童教室の充実を

Q 放課後児童教室の保育料の増額には賛成できません。また保育料の使い道を教えてください。

はいかがなものでしょうか。専門性を持った長期間勤めていただける指導員の先生や安心安全な施設に預けられるよう整備することが必要です。

平田・川下小の2校で新設

今年岩国小で新設

A 放課後児童教室の運営費は9割を人件費が占めて、保育料のほとんどが人件

国際社会に通じる

主権者を育てる教育を

偏った歴史認識の育鵬社版教科書に反対する

Q 育鵬社の教科書は他の教科書に比べて

費に充てられている。指導員研修も全員参加を原則に年4回行われ参加させている。施設整備も平田、川下の2棟を新築し、今年度は岩国も新築し整備にも力を入れている。今後も児童の安心安全な居場所づくりとして保育を行っていく。

日本の中国侵略についての記述で「侵略」という言葉を使っていない。南京大虐殺についての記述では「占領しました」とだけで「虐殺」の事実を記述しない。沖縄戦についてこの記述では、「日本軍による集団自決」に追い込まれた人がいた。事を記述しない。こんな歴史的事実を教えない教科書には反対だ。

教育長の答弁

A、文科省の教科書検定に通った教科書で、記述も教育基本法などに示す基準を満たしている。